



第1140号

令和8年7月15日発行

目次	
定時総会報告	2~3
令和7年度収支決算書	4~5
講習・講座報告	6
「探究的な学び」研究調査委員会報告	7
信州教師塾A報告	7
掲示板	8
100年館の絵	8

信濃教育会140年記念事業 生涯学習講座

「県歌『信濃の国』を訪ねて」 — 歴史の縦糸と自然・文化の横糸で織りなす信州学 —

6月6日(土)
信濃教育会講堂
受講者45名



誰もが知っている「信濃の国」。実は信濃教育会の会長であった正木直太郎氏が、師範学校に唱歌を依頼したことが誕生のきっかけでした。「信濃の国」の歌詞が変更されたことや、長野県の分断を救ったエピソードなど、宮下健司先生のご講演は、まさに珠玉の2時間！でした。

今回は10月17日(土)。「信濃の国」をバスで巡ります。座席に若干余裕があります。ご希望の方はご連絡ください。



- ・とても感動しました。「夢にもこゆる汽車の道」の深いお話、日本にとどまらず、遥かイギリスまでおよぶお話にロマンを感じました。長野県のこと、日本のこと、改めて歴史が楽しくなりました。次回もとても楽しみです。(50代女性)
- ・宮下健司先生の文章を読むがため、毎月会員の先生から『信濃教育』を借りて読ませて頂いておりますが、今回初めて講座に参加させて頂き大変楽しく興味深かったです。「信濃の国を全て唄える」と云う事を誇りにしておりますが、その陰に信濃教育会の存在があった事や、作られた背景に軍国主義に抗う想いがあった事等、多くの事を知ることができ大変良かったと感じております。次回の十月の講座も宜しくお願い致します。(中2男子)

8・9月の研修ガイド

8月4日(火)

- 第382回諏訪季節大学会 ◎岡谷カノラホール ◇「挫折からのキャリア論」
山口真由(信州大学社会基盤研究所特任教授) ☆諏訪教育会 0266-52-0213

9月19日(土)

- 少年の塔慰霊祭 ◎伊那公園 少年の塔前 ◇「満蒙開拓青少年義勇軍について」
矢澤静二 ☆上伊那教育会 0265-72-3416

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等(講師名敬称略) ☆連絡先

一人一人の子の「心ゆくまで探究する学びの具現」に向け、 自己研鑽に努めたい

～信濃教育会の事業を、学びのきっかけづくりに～

令和8年度第1回定時総会が6月23日（火）に信濃教育会館講堂において、各郡市教育会から選出された代議員46名（全代議員48名）の出席のもと開催された。最初に総会の正副議長が選出され、第1号議案及び第2号議案が上程され、報告・承認・選任された。続いて別室で開催された臨時理事会では、6名の理事及び3名の監事の出席のもと、定款第22条第1項の規定に基づき、常務理事1名が選定された。

以下定時総会の概略を報告する。

【大日方会長あいさつ】・・・・・・・・・・

代議員の皆様には、令和8年度定時総会にご出席をいただき、感謝を申し上げます。総会は、信濃教育会における最高議決機関。各郡市並びに高校・大学それぞれの教育会における信濃教育会会員の代表者として、議題の審議及び協議議題の協議等への積極的な参加をお願いしたい。

さて、令和4年に開催した第136回信濃教育会総集會では、「信州教育の明日を拓く」をテーマに、パネルディスカッションを行った。パネリストを務めた方の中から、岩川直樹先生、奈須正裕先生、松木健一先生のご発言を一部紹介する。

岩川直樹先生からは、「教育の根源に立ち返る」をテーマに発言をいただいた。

- ・身につけさせることだけが教育と見なされるとき、教師たちは汎用性の高い「〇〇力」を語ることに忙しくなる。そのとき、一回性の出来事の意味が見失われる。
- ・一回性の出来事は「点」に過ぎないが、点は点だけで成り立つものでも、点だけで終わるものでもない。
- ・「時」を語る教師たちの文化の活性化を願う。

奈須正裕先生からは、「私が信濃（信州）教育から学んだこと」をテーマに発言をいただいた。

- ・信州教育と出会う中で、原点的な問いを学んだとして、何点が挙げられた。
- ＊子どもが求める生活の創造・拡充になっているか。
- ＊子どもの動きが、暮らしや学校生活、地域社会に変化を生み出すことを許容するデザインになっているか。
- ＊問題解決の途上で学ぶ知識・技能を、学習指導要領や発達段階等を言い訳に制限していないか。
- ・教師の予測や願い、学校や地域の都合、従来の慣習等で、子どもの動きや発想を制限する教育では、子は育たない。

松木健一先生からは、「たゆまぬ論議による研鑽」をテーマに発言をいただいた。

- ・教師は、経験から学ぶ高度専門職業人。実践の傾

聴・語り合いにより、普遍的な範例知を創造したい。

- ・教師は、一人では育たない。学び合うコミュニティー、チームが必要。チームは学校であり、教育会である。
- ・教師の学習観、教師観、価値観、発達観が高まるためには、ロングスパンの授業研究、異質な人の参加による授業研究が必要。

3人の先生方には、これまで信州教育が大事にしてきた所謂「教師文化」を、改めて評価していただき、力強くエールを贈っていただいた。併せて、「子どもと、ふれ合い分かち合っているか」「子どもの学びを教師の都合で制約していないか」「授業研究が、互いの『観』に迫る論議になっているか」等々の課題も指摘していただいた。

目の前の子ども達と真向い、一人一人の子の「心ゆくまで探究する学びの具現」に向け、お互い、自己研鑽に努めたい。

信濃教育会では、学校現場で日々実践している先生方に、様々な研鑽の場を提供して参る。是非、代議員の皆様方の忌憚のない意見で、本会事業を大いに支えていただきたい。

それでは、一年間、よろしく願いしたい。

【正副議長の選出】・・・・・・・・・・

議長 上高井教育会 桂本和弘 代議員
副議長 大学教育会 茅野公穂 代議員

【議 事】・・・・・・・・・・

報告事項「令和7年度公益社団法人信濃教育会事業報告」に関する件

第1号議案「令和7年度公益社団法人信濃教育会決算の承認」に関する件

第2号議案「公益社団法人信濃教育会 補欠理事1名の選任並びに常務理事候補者の選任」に関する件

【協 議】・・・・・・・・・・

- (1) 令和8年度信濃教育会事業計画について
- (2) 令和8年度信濃教育会予算について
- (3) 購読増、購入増の取組について

- (4) 令和9年度以降の信濃教育会総集会について
- (5) 「2026年度長野県教育研究集会」の後援依頼について

- ・信濃教育会には幅広い事業がある。自校では、一人1回は、関心のあるものに参加しようと声掛けをしている。年度初めに合唱団の取組を紹介したところ、歌う機会がほしかったと若手二人が参加した。声をかけあって参加し、楽しく生き生きと活動できることに期待している。
- ・本校は、「学び創造研究会」に3年連続立候補している。若い先生方がリレー形式でこの機会を継続し、前向きに取り組んでいる。助成金や共同研究者を入れていただくことが支えになり、学びのきっかけになっている。
- ・教師塾Bを近隣の4つの都市教育会で相互に参加できるようにしている。内容の幅が広がり、参加しやすくなっている。柔軟な対応を認めていただきありがたい。

【臨時理事会報告】（役員補欠者の選定結果）・・・・・・
常務理事 土屋次男 氏

【報告・連絡】・・・・・・・・・・・・・・・・

- (1) 教育研究所の研究発表会
- (2) 講習・講座の計画
- (3) オンラインカフェについて
- (4) 学び創造研究会の概要及び令和8年度学び創造研究会に向けて
- (5) 第77回日本連合教育会研究大会長野大会兼第140回信濃教育会総集会
- (6) 第30回教育研究論文・教育実践賞の募集
- (7) 「教員助成事業」の申込み状況
- (8) 第23回信州“教育の日”佐久大会について
- (9) 令和8年度日中友好事業について
- (10) 令和8年度総会年間計画及び第2回臨時総会について

【意見交換】・・・・・・・・・・・・・・・・・・
テーマ

◇人材育成のための教育会と校長会の連携、信濃教育会のあり方

○グループ別協議 ○全体協議

- ・人材育成のためには、教育会と校長会との連携が重要。都市によって組織の成り立ち等が異なるので、連携のあり方はそれぞれだと思うが、校長会と教育会の取組の重なりや役割分担を理解し合って進めたい。
- ・下伊那では、校長会主催で教育課程研究協議会に代わる授業公開を通して学ぶ日を設定している。その授業公開に、都市教育会の研究委員会が手を上げるといった連携を図っている。信濃教育会の「学び創造研究会」も授業公開を通して学び合える貴重な機会なので、そことのタイアップも考えたい。
- ・信濃教育会がないと困ることは何か、原点に立ち

返って考えてみたい。信濃教育会は、都市教育会や県や市町村教育委員会とは違う。ブロック異動が中心になったり、オンラインでの会が多くなったりする中で、ブロックを越えた出会いやつながりの機会を提供できるのが信濃教育会だと考える。また、過去の実践等も含めて教師のあり方や授業づくり、学級づくり等に関する本質的な問いかけや情報提供ができるのが信濃教育会ではないかと思う。信濃教育会だからできる事業の継続、充実をお願いしたい。

【閉会のあいさつ】・・・・・・・・・・・・・・・・

只今の意見交換では、信濃教育会の運営に関わる根源的なご意見をいただいた。今後に繋げていきたい。

本日の審議、協議を受け3点お話をさせていただく。

はじめに、出版本に関わってお願いしたい。

午前中の協議では、デジタル化の提案があった。今の社会状況を考えると当然の指摘だ。この課題については、これまで様々な指摘があり、事務局でも検討を進めてきたところ。ただ、「学事関係職員録」は個人情報問題がある。また、雑誌『信濃教育』は、デジタル化を求める方がいる一方で、紙で読みたい人もいる。両方と言うのは財務上難しい。

デジタル化が大事なことは重々承知している。今すぐ言うことは厳しいが、指摘を前向きに受け止めさせていただく。

次に、研修にかかわりお願いしたい。

午前中も、「若い先生方やミドルリーダーに、学びのきっかけを作りたい」という意見をいろいろいただいた。信濃教育会でも、若い先生方やミドルリーダーに教育会に入ってもらい、共に学んでほしいとの願いから、若い先生方の思いを受け止め、魅力ある事業を企画し運営しているところ。

一方で、ベテランの先生方はどうかということだが、中国の古典『大学』の中に、人の上に立つ者の心得として、「修己治人」（己を修め、人を治める）との言葉がある。「人は、己を修めた分だけ、人を感化し、育てることができる」という意味だが、このことも重く受け止めたい。

信濃教育会では、若い先生方を導く校長先生をはじめベテランの先生方の研鑽の場も大事にしたいと考えている。そんな意味で、是非、要望をお聞かせいただきたい。

次に、教員助成事業についてお願いしたい。

教員助成事業としては、「自主的校内研修事業」「短期視察補助事業」「学び続ける教員補助事業」がある。これらの経費は、会員皆さんからいただいた会費の再分配として活用している。信教を身近に感じてもらえる事業でもある。大いに、活用してほしい。

(別掲)

公益目的事業収支決算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 特定資産運用益	62,614	310	△62,304
(2) 受取会費	142,274,860	141,637,500	△637,360
(3) 事業収益	33,542,523	31,259,500	△2,283,023
1 購読収益	13,634,266	13,143,000	△491,266
2 受取印税	18,673,576	17,400,000	△1,273,576
3 講座受講料	310,180	466,500	156,320
4 会館使用料	924,501	250,000	△674,501
(4) 受取負担金	50,000	50,000	0
(5) 受取補助金等	5,921,165	4,214,580	△1,706,585
(6) 受取寄付金	0	0	0
(7) 雑収益	1,776,372	1,228,860	△547,512
経常収益計	183,627,534	178,390,750	△5,236,784
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	150,252,818	161,341,351	11,088,533
(1) 職能研修事業費	26,821,537	31,743,000	4,921,463
1 研究調査費	3,760,061	3,953,000	192,939
1 委員会費	1,472,886	1,242,000	△230,886
2 旅費交通費	63,796	303,000	239,204
3 通信運搬費	339,580	453,000	113,420
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	11,359	68,000	56,641
6 印刷製本費	1,620,223	1,234,000	△386,223
7 賃借料	0	100,000	100,000
8 諸謝金	245,014	463,000	217,986
9 雑費	7,203	90,000	82,797
2 福祉教育資料研究調査費	0	0	0
1 委員会費	0	0	0
2 旅費交通費	0	0	0
3 通信運搬費	0	0	0
4 支払助成金	0	0	0
5 支払寄付金	0	0	0
6 雑費	0	0	0
3 教育研究所運営費	2,722,812	3,456,000	733,188
1 委員会費	62,520	120,000	57,480
2 旅費交通費	1,306,990	1,770,000	463,010
3 通信運搬費	49,691	70,000	20,309
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	55,793	286,000	230,207
6 印刷製本費	341,000	281,000	△60,000
7 諸謝金	757,319	770,000	12,681
8 支払負担金	39,400	40,000	600
9 雑費	110,099	119,000	8,901
4 講習講演会費	2,660,545	3,367,000	706,455
1 旅費交通費	540,930	975,000	434,070
2 通信運搬費	2,875	30,000	27,125
3 消耗品費	112,519	133,000	20,481
4 印刷製本費	0	0	0
5 賃借料	0	0	0
6 諸謝金	444,342	560,000	115,658
7 支払助成金	1,240,000	1,210,000	△30,000
8 雑費	319,879	459,000	139,121
5 教育研究大会費	7,693,624	8,990,000	1,296,376
1 旅費交通費	1,448,092	2,010,000	561,908
2 通信運搬費	130,590	255,000	124,410
3 消耗品費	74,084	55,000	△19,084
4 印刷製本費	106,733	130,000	23,267
5 賃借料	395,230	100,000	△295,230
6 諸謝金	2,023,295	2,335,000	311,705
7 支払負担金	80,000	80,000	0
8 支払助成金	3,406,400	3,900,000	493,600
9 委託費	0	0	0
10 雑費	29,200	125,000	95,800
6 視察派遣助成費	3,423,635	3,916,000	492,365
1 委員会費	133,380	300,000	166,620
2 旅費交通費	1,617,610	1,650,000	32,390
3 通信運搬費	4,750	23,000	18,250
4 消耗品費	23,635	0	△23,635
5 支払負担金	347,500	330,000	△17,500
6 支払助成金	1,244,930	1,563,000	318,070
7 雑費	51,830	50,000	△1,830
7 教育会研修助成費	566,500	670,000	103,500
1 支払助成金	566,500	670,000	103,500
8 応募型研修助成費	5,994,360	7,391,000	1,396,640
1 旅費交通費	69,420	145,000	75,580
2 通信運搬費	6,410	20,000	13,590
3 消耗品費	34,895	60,000	25,105
4 印刷製本費	45,628	30,000	△15,628
5 諸謝金	55,685	56,000	315
6 支払助成金	5,748,562	7,000,000	1,251,438
7 雑費	33,760	80,000	46,240
(2) 教育図書研究調査事業費	18,647,723	23,043,000	4,395,277
1 教科用図書研究	2,571,352	5,489,000	2,917,648

委員会費

- 委員会費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 消耗什器備品費
- 消耗品費
- 諸謝金
- 雑費
- 学術図書研究

委員会費

- 委員会費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 消耗什器備品費
- 消耗品費
- 印刷製本費
- 諸謝金
- 期首商品棚卸高
- 期末商品棚卸高
- 雑費

(3) 生涯学習振興事業費

- 教育博物館運営費
- 委員会費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 消耗品費
- 印刷製本費
- 諸謝金
- 支払助成金
- 雑費

2 生涯学習推進支援事業費

- 委員会費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 消耗什器備品費
- 消耗品費
- 修繕費
- 光熱水料諸費
- 保険料
- 諸謝金
- 委託費
- 雑費

(4) 事業共通費

- 役員報酬
- 給料手当
- 賞与引当金繰入額
- 退職給付費用
- 福利厚生費
- 会議費
- 委員会費
- 旅費交通費
- 渉外応接費
- 通信運搬費
- 減価償却費
- 消耗什器備品費
- 消耗品費
- 修繕費
- 印刷製本費
- 光熱水料諸費
- 賃借料
- 保険料
- 租税公課
- 支払負担金
- 雑費
- 支払利息

【管理費】

- 会議費
- 総会費
- 理事会費
- 監事会費
- 共通会議費
- 会報発行費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 消耗品費
- 印刷製本費
- 諸謝金
- 雑費
- 事務費
- 役員報酬
- 給料手当
- 賞与引当金繰入額
- 退職給付費用
- 福利厚生費
- 旅費交通費
- 渉外応接費
- 通信運搬費
- 減価償却費
- 消耗什器備品費

1,593,550	3,478,000	1,884,450	
74,260	570,000	495,740	
61,852	43,000	△18,852	
0	100,000	100,000	
322,965	770,000	447,035	
278,425	244,000	△34,425	
240,300	284,000	43,700	
16,076,371	17,554,000	1,477,629	
220,390	230,000	9,610	
22,110	100,000	77,890	
1,840,025	2,500,000	659,975	
0	0	0	
360,635	60,000	△300,635	
10,577,050	11,720,000	1,142,950	
1,442,125	1,570,000	127,875	
14,988,432	14,500,000	△488,432	
△14,491,694	△14,600,000	△108,306	
1,117,298	1,474,000	356,702	
3,110,450	3,987,000	876,550	
1,692,045	1,717,000	24,955	
351,920	185,000	△166,920	
296,130	438,000	141,870	
99,736	119,000	19,264	
71,960	130,000	58,040	
500,377	435,000	△65,377	
66,822	80,000	13,178	
300,100	301,000	900	
5,000	29,000	24,000	
1,418,405	2,270,000	851,595	
0	30,000	30,000	
86,580	120,000	33,420	
117,343	140,000	22,657	
0	150,000	150,000	
25,845	200,000	174,155	
0	150,000	150,000	
386,702	470,000	83,298	
193,108	200,000	6,892	
89,096	100,000	10,904	
515,401	570,000	54,599	
4,330	140,000	135,670	
101,673,108	102,568,351	895,243	
4,480,823	4,729,950	249,127	
52,452,570	56,435,200	3,982,630	
3,824,502	0	△3,824,502	
2,646,474	2,616,606	△29,868	
9,169,394	9,201,760	32,366	
346,846	375,700	28,854	
0	0	0	
123,080	462,400	339,320	
168,311	231,200	62,889	
454,005	574,000	119,995	
12,270,975	8,615,415	△3,655,560	
0	0	0	
1,279,382	1,148,000	△131,382	
467,194	172,200	△294,994	
499,826	462,400	△37,426	
8,943,400	8,610,000	△333,400	
616,547	3,468,000	2,851,453	
108,650	217,320	108,670	
971,987	2,994,000	2,022,013	
2,013,994	1,849,600	△164,394	
437,956	404,600	△33,356	
397,192	0	△397,192	
39,344,893	39,065,706	△279,187	
430,829	728,700	297,871	
255,840	500,000	244,160	
49,640	80,000	30,360	
2,720	20,000	17,280	
122,629	128,700	6,071	
2,221,645	2,695,000	473,355	
16,680	40,000	23,320	
266,834	300,000	33,166	
4,569	16,000	11,431	
1,900,151	2,300,000	399,849	
33,411	34,000	589	
0	5,000	5,000	
36,692,419	35,642,006	△1,050,413	
3,504,575	3,630,100	125,525	
16,737,625	17,296,000	558,375	
1,352,164	0	△1,352,164	
935,669	896,346	△39,323	
3,540,082	3,152,160	△387,922	
224,285	508,400	284,115	
302,747	179,200	△123,547	
221,593	249,000	27,407	
2,846,550	1,653,980	△1,192,570	
0	0	0	

11	消耗品費	545,803	698,000	152,197
12	修繕費	166,041	89,700	△76,341
13	印刷製本費	396,110	308,400	△87,710
14	光熱水料諸費	3,178,491	2,985,000	△193,491
15	賃借料	217,982	1,188,000	970,018
16	保険料	27,758	55,520	27,762
17	支払負担金	746,343	663,600	△82,743
18	委託費	660,000	700,000	40,000
19	雑費	948,172	1,388,600	440,428
20	支払利息	140,429	0	△140,429
経常費用計		189,597,711	200,407,057	10,809,346
評価損益等調整前当期経常増減額		△5,970,177	△22,016,307	△16,046,130
投資有価証券評価損益等		240,924		
当期経常増減額		△5,729,253		
2	経常外増減の部			
	経常外収益	0		
	経常外費用	△1,713,156		
	当期経常外損益額	△1,713,156		
	他会計振替額	4,038,613		
	当期一般正味財産増減額	△3,403,796		
	一般正味財産期首残高	309,229,276		
	一般正味財産期末残高	305,825,480		
Ⅲ	指定正味財産増減の部			
	受取補助金等	4,214,580		
	一般正味財産への振替額	△5,921,165		
	当期指定正味財産増減額	△1,706,585		
	指定正味財産期首残高	1,706,585		
	指定正味財産期末残高	0		
Ⅲ	正味財産期末残高	305,825,480		

出版事業収支決算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 特定資産運用益	2,799	16	△2,783
(2) 事業収益	17,290,345	17,500,000	209,655
1 購読収益	14,863,500	14,800,000	△63,500
2 受取印税	2,426,845	2,700,000	273,155
(3) 雑収益	26,926	1,470	△25,456
経常収益計	17,320,070	17,501,486	181,416
2 経常費用の部			
1 役員報酬	413,229	435,740	22,511
2 給料手当	3,325,435	3,816,820	491,385
3 賞与引当金繰入額	251,874	0	△251,874
4 退職給付費用	174,291	181,080	6,789
5 福利厚生費	603,877	636,800	32,923
6 会議費	22,843	26,000	3,157
7 委員会費	109,270	170,000	60,730
8 旅費交通費	8,106	32,000	23,894
9 渉外応接費	11,085	16,000	4,915
10 通信運搬費	640,184	751,000	110,816
11 減価償却費	5,556,750	5,349,340	△207,410
12 消耗什器備品費	0	0	0
13 消耗品費	86,926	101,000	14,074
14 修繕費	31,743	12,300	△19,443
15 印刷製本費	5,755,063	5,744,000	△11,063
16 光熱水料諸費	607,653	615,000	7,347
17 賃借料	40,605	240,000	199,395
18 保険料	3,320	6,640	3,320
19 諸謝金	0	0	0
20 租税公課	478,073	1,060,000	581,927
21 支払負担金	132,637	128,000	△4,637
22 委託費	1,741,451	1,707,000	△34,451
23 雑費	293,396	308,000	14,604
24 支払利息	26,158	0	△26,158
経常費用計	20,313,969	21,336,720	1,022,751
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,993,899	△3,835,234	△841,335
他会計振替額	0		
当期経常増減額	△2,993,899		
法人税・住民税及び事業税	40,893		
当期一般正味財産増減額	△3,034,792		
一般正味財産期首残高	29,609,345		
一般正味財産期末残高	26,574,553		
Ⅱ 正味財産期末残高	26,574,553		

不動産貸与事業収支決算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 特定資産運用益	118,816	1,311	△117,505
(2) 事業収益	14,434,600	14,158,600	△276,000

1 貸家賃貸料	9,958,600	9,814,600	△144,000
2 貸地賃貸料	4,476,000	4,344,000	△132,000
(3) 受取負担金	2,200,304	3,000,000	799,696
(4) 雑収益	143,663	100,000	△43,663
経常収益計	16,897,383	17,259,911	362,528
2 経常費用の部			
1 役員報酬	301,146	317,960	16,814
2 給料手当	2,882,162	2,947,730	65,568
3 賞与引当金繰入額	192,219	0	△192,219
4 退職給付費用	133,012	126,756	△6,256
5 福利厚生費	460,853	445,760	△15,093
6 会議費	17,432	18,200	768
7 旅費交通費	6,186	22,400	16,214
8 渉外応接費	8,459	11,200	2,741
9 通信運搬費	22,937	28,000	5,063
10 減価償却費	5,656,803	4,655,368	△1,001,435
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	76,774	56,000	△20,774
13 修繕費	282,280	158,400	△123,880
14 印刷製本費	25,121	22,400	△2,721
15 光熱水料諸費	2,391,444	3,480,000	1,088,556
16 賃借料	30,988	168,000	137,012
17 保険料	106,099	152,560	46,461
18 租税公課	1,541,140	2,146,000	604,860
19 支払負担金	101,223	89,600	△11,623
20 雑費	629,725	769,600	139,875
21 支払利息	19,963	0	△19,963
経常費用計	14,885,966	15,615,934	729,968
評価損益等調整前当期経常増減額	2,011,417	1,643,977	△367,440
他会計振替額	0		
当期経常増減額	2,011,417		
法人税・住民税及び事業税	40,107		
当期一般正味財産増減額	1,971,310		
一般正味財産期首残高	185,337,586		
一般正味財産期末残高	187,308,896		
Ⅱ 正味財産期末残高	187,308,896		

災害見舞金事業収支決算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位＝円)

科 目	本年度決算額	本年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 特定資産運用益	48,897,779	42,600,063	△6,297,716
(2) 受取会費	2,000,000	2,000,000	0
経常収益計	50,897,779	44,600,063	△6,297,716
2 経常費用の部			
1 役員報酬	2,872,187	3,033,250	161,063
2 給料手当	12,143,825	13,357,250	1,213,425
3 賞与引当金繰入額	1,007,494	0	△1,007,494
4 退職給付費用	697,165	706,212	9,047
5 福利厚生費	2,415,508	2,483,520	68,012
6 会議費	91,370	101,400	10,030
7 旅費交通費	32,423	124,800	92,377
8 渉外応接費	44,338	62,400	18,062
9 通信運搬費	135,748	198,000	62,252
10 減価償却費	1,012,642	282,985	△729,657
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	343,249	316,000	△27,249
13 修繕費	125,345	47,400	△77,945
14 印刷製本費	131,670	124,800	△6,870
15 光熱水料諸費	2,399,449	2,370,000	△29,449
16 賃借料	162,418	936,000	773,582
17 保険料	4,980	9,960	4,980
18 支払見舞金	13,136,000	10,000,000	△3,136,000
1 死亡・障害見舞金	10,500,000	6,000,000	△4,500,000
2 入院・通院見舞金	2,062,000	2,000,000	△62,000
3 自然災害見舞金	574,000	2,000,000	1,426,000
19 支払負担金	530,550	499,200	△31,350
20 雑費	689,676	759,200	69,524
21 支払利息	104,633	0	△104,633
経常費用計	38,080,670	35,412,377	△2,636,943
評価損益等調整前当期経常増減額	12,817,109	9,187,686	△3,629,423
特定資産評価損益等	380,354		
当期経常増減額	13,197,463		
2 経常外増減の部			
経常外収益	0		
経常外費用	0		
当期経常外損益額	0		
他会計振替額	△4,038,613		
当期一般正味財産増減額	9,158,850		
一般正味財産期首残高	1,305,425,618		
一般正味財産期末残高	1,314,584,468		
3 正味財産期末残高	1,314,584,468		

合 唱

みんなの歌声を重ねて、心弾む楽しい合唱づくり

5月31日(日) 塩尻市文化会館レザンホール

受講者数 61名

講師 三宅悠太先生の体を動かしながらのリズム指導、楽譜を子どもたちといっしょにわかりやすく読み解きながらの指導を通して、歌の世界を自ら創り出しながら歌う楽しさ、心地よさを感じ合う豊かな時間を過ごすことができました。

○作曲家ご本人から直接指導いただける、またとない貴重な機会でした。楽譜の余白に込められた意図や、和声の仕掛けまで知ることができ、音楽の見方が大きく変わりました。モデル合唱団の子どもたちの真剣な眼差しと成長する姿に、こちらでも大変学ばせていただいた一日となりました。

○三宅先生には、子どもたちに身近な例えや体験活動を交えながらご指導いただき、大変勉強になりました。専門的な内容を生徒が直感的に理解できるように伝える工夫が随所に見られ、今後の自身の指導にも生かしていきたいと感じました。



講師 三宅悠太先生



理科観察・実験講習会

「地質探偵ハラヤマとGO！」

観光では行かない上高地&「ブラタモリ」撮影裏話

6月13日(土)

受講者数 25名

NHK「ブラタモリ」に出演された地質探偵ハラヤマこと、信州大学理学部名誉教授の原山 智 先生を講師にお迎えし、焼岳ふもとや大正池・田代湿原のフィールドワークを通して、上高地の成り立ちを教えてくださいました。ウエストンのレリーフが埋め込まれている岩は、「ブラタモリ」でも紹介された世界一若い花崗岩でした!!



- ・現地で実物を見ながら原山先生のお話をお聞きできてありがたかった。市民や中学生の参加があり、教職員と共に学べたことが素晴らしい。(60代男性)
- ・昨年、偶然、乗鞍自然保護センターで本講座のことを教えていただき、1年間受講を楽しみにしていました。他県にもかかわらず温かく迎え入れていただき、原山先生の講義や教育界の皆様とのお話もとても楽しく刺激を受け、ますます「信濃の国」が好きになりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。(60代男性)



信濃教育会館内や周辺を歩いて、探究の原体験と表現のあり方について学びました

信濃教育会館構内&周辺
Feel度Walkスケッチ図

委員のスケッチ図

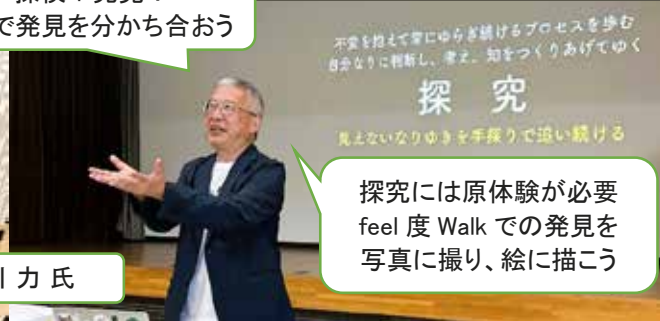


普段見えていないものが見えてきました！

探究＝探検＋発見！
スケッチ図で発見を分かち合おう



講師は「みつかる＋わかる代表理事」の市川 力 氏



探究には原体験が必要
feel 度 Walk での発見を
写真に撮り、絵に描こう

6 月 16 日開催

第 1 回「探究的な学び」 研究調査委員会報告！

委員の感想

「歩きながらなんとなく気になるものを
写真に撮ることで、自分のものの見方や
他の先生のものを見方を知ったり比べたり
できて楽しかったです。きっと子ども
たちもそんな気持ちになるのかなと思い
ました。
自分の「なぜ」「どうして」が、周りの人と
繋がっていくことは、学びの原動力にも
なるのだと感じました。
国語科の授業で短歌や俳句を創る際にも
feel 度 Walk が活かせそうだと感じ
ましたので、チャレンジしてみたいと思
います」

5 月 30 日開催 第 1 回「信州教師塾 A」 報告！

「長野県の教師になろう！」
をスローガンに、
教員採用一次選考対策、
信州の教師のやりがいや魅力など、
夢の実現に向けて支援しました。
長野市の信濃教育会館と
安曇野市の生涯学習センター
での同時開催で、
49名が受講しました。



信濃教育会館での県教委による説明



個人面接のポイントについてアドバイス

受講者の感想

「特に不安を感じていた個人面接に
ついて、本番を想定した演習を行うこ
とができたことが大きな自信につな
がりました。
また、講師の先生方からいただいた
アドバイスはもちろん、他の参加者の
面接からも多くを学ぶことができました。
自分自身の課題や改善点を見つめ直
す貴重な機会となり、参加して本当に
良かったと感じています。
今回学んだことを今後の面接練習や
教員採用試験本番に生かしていきたい
です」



生涯学習センターでの県教委による説明



安曇野市の生涯学習センターと同時開催

掲 示 板

学び創造研究会を 開催します。

詳細は6月中旬に各校配布の
ポスターをご覧ください。

企画展

美しき信州の四季

～子どもたちの瞳に映る春夏秋冬～

7月10日(金)～8月7日(金)

期間中無休／入場無料

県内の小中学生が描いた絵画作品の中から
「四季」をテーマに選び出した190点を展
示します。長野県の子どもたちが見つめた季
節のきらめきを、どうぞご覧ください。

信濃教育

予 告

信濃教育
8月号

テーマ

地域とともに
課外クラブ・部活の地域展開など

塩田中では、一年時に「なぜか気になる情景」という単元で、自分が気になるものを見つけ、それを拡大して水彩で描くという学習を行っています。心結花さんは、いろいろな光に満ちているところに魅力を感じ、さらに美しく描きたいという思いから、美術室の水道を題材にして描くことを決めました。下から水道を見上げ、水道からは水が滴り落ち、光に反射し光り輝いているそんな一瞬を切り取ったような

構図です。水彩で表現する際には、「こんな色にしたら面白いだろうな」「反射したらこうなるかも」と考え、青・赤・黄・緑といった鮮やかな色をどんだんのせていき、水道が主人公として引き立つ、色鮮やかな美しい作品に仕上げていきました。彼女は、「これからも、誰が見ても美しいと感じるような絵を描いていきたい」と今後の抱負を語っています。

指導者
北崎 知菜(塩田中学校)

100年館の絵

令和7年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「美しい水道」

依田心結花(塩田中1年)

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026(232)2470
URL <https://shinkyo.or.jp> ✉ shinkyo@shinkyo.or.jp
編集兼発行人／大日方貞一

